

2017. 3

(島根県道づくり調整会議)



道づくりだより 第109号



道と川の相談ダイヤル
「パトレポしまね」

-Contents-

1. 国道314号 湯の原工区 防災安全交付金（歩道整備）工事
JR跨線歩道橋をメタルロード工法で架設（道路建設課）
2. 山陰道の整備状況について（高速道路推進課）
3. 特別講演会「出雲の神々に出会う町」を開催しました（高速道路推進課）
4. 道と川の相談ダイヤル「パトレポしまね」4月7日より運用開始！（道路維持課）
5. （都）神門通り線2工区のワークショップを開催しました（都市計画課）
6. 和江地区漁港関連道（仮称）新正原橋上部工工事に着手！（漁港漁場整備課）

国道314号 湯の原工区 防災安全交付金(歩道整備)工事 JR跨線歩道橋をメタルロード工法で架設

事業概要

国道314号湯の原工区は旧仁多町の中心である三成の東に位置し、中国山地の山々と斐伊川に挟まれ急カーブが連続するため、ここ5年間で死亡事故を含み8件の交通事故が発生しています。さらには、通学路でありながら、旧規格の道路で路肩も狭く、非常に危険な状況であるため、本事業により歩道の整備を進めているところです。

今回紹介する歩道橋は、JR木次線と交差するうえ、昭和10年に架設された車道部の既設橋梁にも配慮する必要があったため、地形等施工条件の厳しい場所でも有利となりやすい「メタルロード工法」を採用しました。



①下部工

①下部工は、土や岩を削り取って穴をほり鋼管杭を建て込みます。

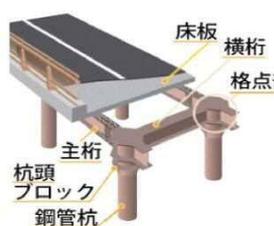


③完成



②上部工

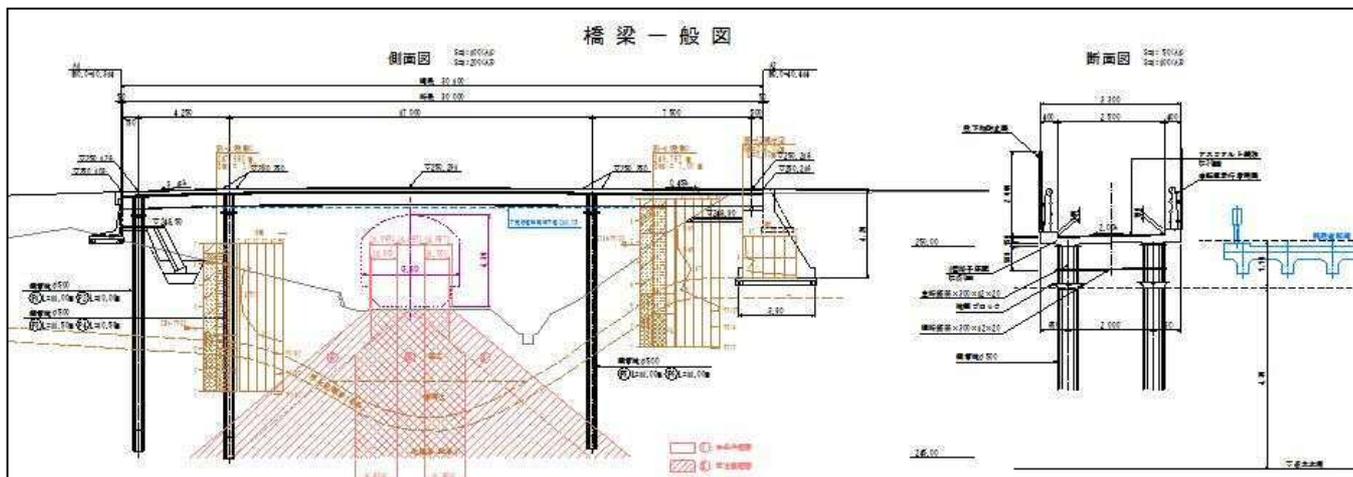
②上部工はクレーンで架設します。また、安全のため夜間の施工となります。



メタルロード工法概略図

メタルロード工法の特徴

- 部材の運搬・架設が容易で施工性に優れている。
- 活荷重や地震時荷重に対して優れた耐荷力を有している。
- 中山間部の狭小かつ複雑な地形に対して有利。



山陰道の整備状況について

1 概要

山陰道整備について、平成 28 年度は福光浅利道路が新規事業化となったほか、12 月 18 日に浜田三隅道路（西村～石見三隅間）が開通しました。

平成 29 年度は朝山大田道路が、さらに平成 30 年度には多伎朝山道路が供用予定となっています。また、その他の路線についても、鋭意工事が進められており、橋梁やトンネル等の構造物も目につくようになってきました。今回は現在の山陰道の整備状況について、簡単にご紹介いたします。

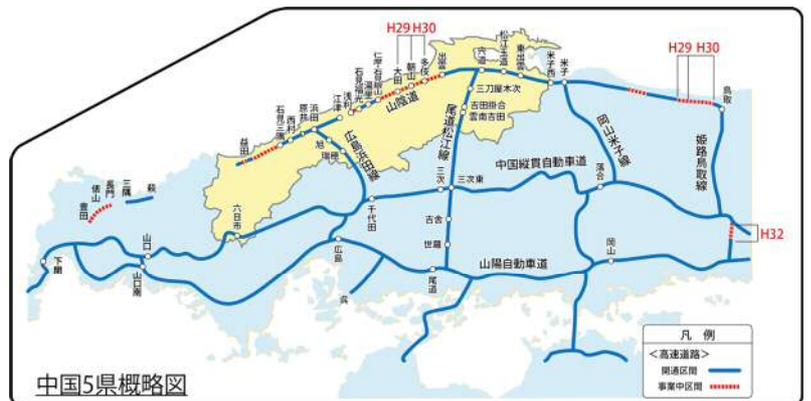


山陰道(県内)の整備状況 H29.3 末時点

凡 例		延長	比率
開通区間		114km	59%
事業中区間		62km	32%
未事業化区間 (調査区間)	計画段階評価完了	8km	9%
	計画段階評価未完了	10km	
合 計		194km	

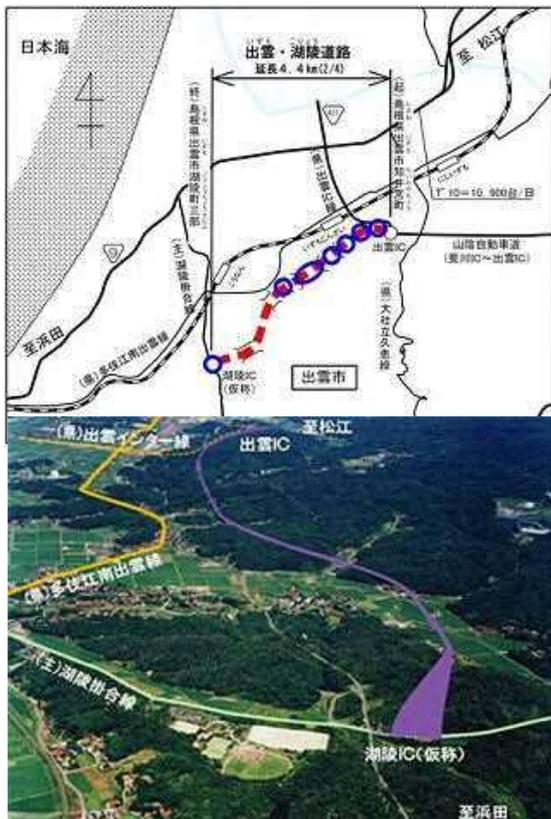
注 1) 合計は端数処理により表の集計と一致しない
 注 2) 図上の赤書数字は供用予定年度

※1 猛禽類保全対策等が速やかに完了する場合



各路線の状況

(1) 出雲湖陵道路：出雲市知井宮町～湖陵町三部・延長L=4.4km 【平成20年度事業着手】



平成28年度は用地買収・埋蔵文化財調査・環境調査・道路改良工事・橋梁上部工事・トンネル工事が進められました。平成29年度も引き続き、同様の内容が実施される予定です。

(2) 湖陵多伎道路：出雲市湖陵町三部～多伎町久村・延長L=4.5km 【平成24年度事業着手】



平成28年度は用地買収・埋蔵文化財調査・環境調査・道路改良工事・橋梁下部工事が進められました。平成29年度は上記の内容に加え、橋梁上部工事が実施される予定です。

(3) 多伎朝山道路：出雲市多伎町久村～大田市朝山町朝倉・延長L=9.0km【平成18年度事業着手】

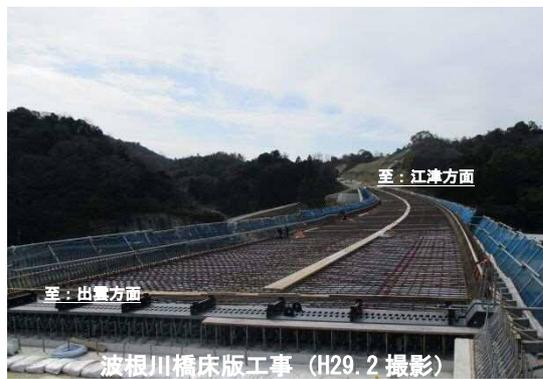


平成30年度
開通予定



平成28年度は環境調査・道路改良工事・橋梁下部工事・橋梁上部工事・トンネル工事が進められました。
平成29年度は環境調査・改良工事・橋梁上部工事・舗装工事が進められる予定です。

(4) 朝山大田道路：大田市朝山町朝倉～久手町刺鹿・延長L=6.3km【平成19年度事業着手】



平成29年度
開通予定

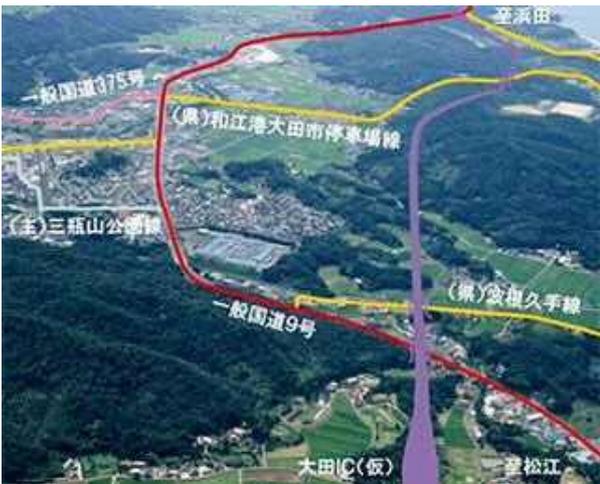


平成28年度は埋蔵文化財調査・環境調査・道路改良工事・橋梁上部工事等が進められました。
平成29年度は環境調査・改良工・床版工・舗装工・電気設備工・道路交通安全施設工が実施される予定です。

(5) 大田静間道路：大田市久手町刺鹿～大田市静間町・延長 L=5.0km【平成 24 年度事業着手】



大田 IC 現道接続部 (H28.12 撮影)



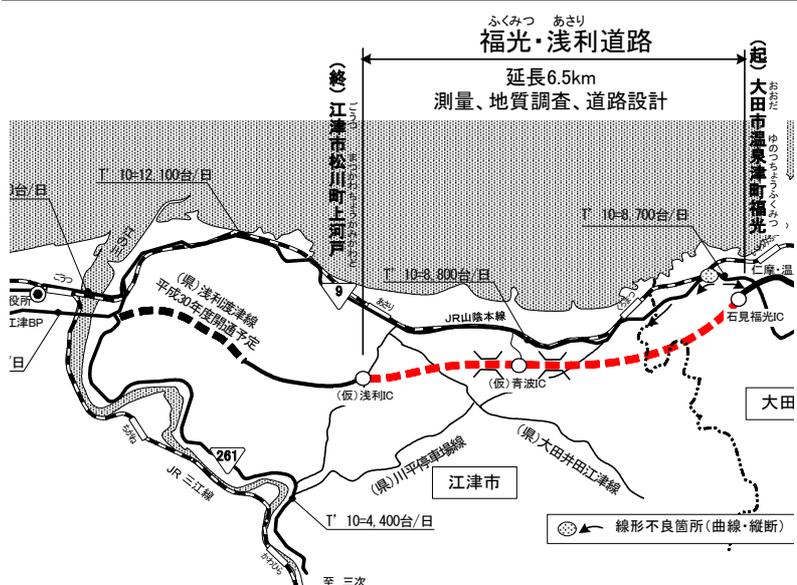
平成 28 年度は用地買収・埋蔵文化財調査・環境調査・道路改良工事・橋梁下部工事が進められました。
平成 29 年度は同様の内容が実施される予定です。

(6) 静間仁摩道路：大田市静間町～仁摩町大國・延長 L=7.9km【平成 20 年度事業着手】



平成 28 年度は用地買収、埋蔵文化財調査・環境調査・道路改良工事・橋梁下部工事等が進められました。
平成 29 年度は上記内容のほか、トンネル工事が実施される予定です。

(7) 福光浅利道路：大田市温泉津町福光～江津市松川町上河戸・延長L=6.5km【平成28年度事業着手】



平成27年9月に都市計画決定され、今年度（平成28年度）から新規に事業着手しました。平成28年度は測量、地質調査等に着手し、平成29年度は調査設計を進めていく予定です。

(8) 三隅益田道路：浜田市三隅町～益田市遠田町・延長L=15.2km【平成24年度事業着手】



平成28年度は用地買収、埋蔵文化財調査・環境調査・道路改良工事・橋梁下部工事、トンネル工事が進められました。平成29年度も同様の工事が進められる予定です。



(9) 浜田三隅道路：浜田市原井町～浜田市三隅町三隅・延長L=14.5km 【平成28年度全線開通】



特別講演会「出雲の神々に出会う道」を開催しました

1. 概要

島根の社会、経済、文化活動を支えた道について、歴史をたどり各時代における道のあり方や道路制度、道路・交通施策を紹介する講演会を、下記により開催しました。

当日は多くの方に聴講していただき、古来から人々が歩いてきた道の意味について思いを馳せていただけたのではないのでしょうか。

(1)実施日：平成 29 年 3 月 4 日（土）

(2)会 場：島根県立図書館

(3)プログラム

■「島根県の道路整備について」

島根県土木部高速道路推進課長 舟津修亮

■講演「出雲の神々に出会う道」

講師：川島芙美子 氏

【講師略歴】

奈良女子大学文学部卒業。島根大学大学院修士修了。

島根県立高校の教員を経て、現在、しまね観光推進会議委員、「山陰万葉を歩く会」会長、「風土記を訪ねる会」代表。著書に『出雲の神々に出会う旅』（今井出版）、『神々のくに そのくにびと』（中国新聞社）、『こども出雲国風土記』（山陰中央新報社）、『人麻呂さん 石見に生きて恋して』、『神々うたう雲國』（客山房）。共著に『山陰の神々古社を訪ねて』（今井出版）、『山陰の神々神々と出会う旅』（今井出版）、『古代出雲を歩く』（山陰中央新報社）など

■高速道路に関する展示の紹介

2. 講演（写真）



川島先生による講演



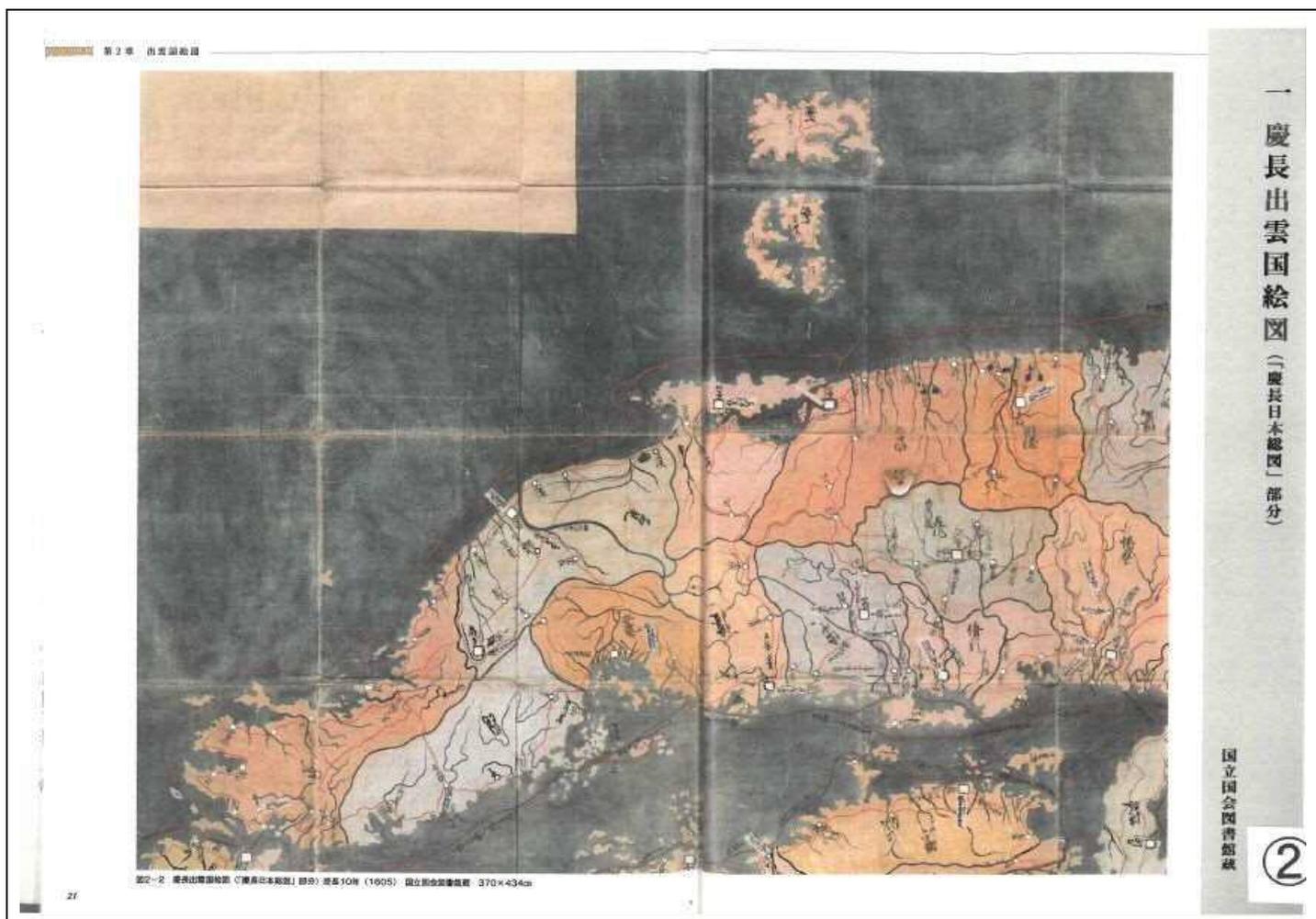


熱心に聴講していただきました。

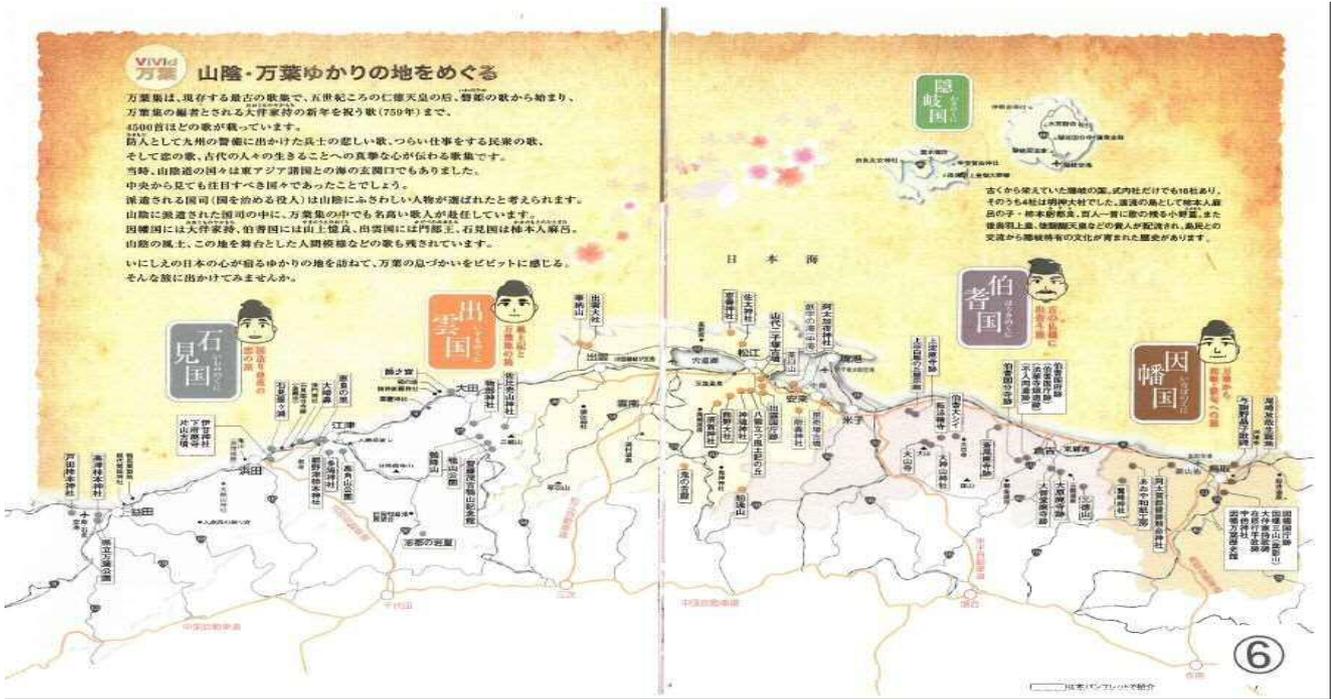


舟津高速道路推進課長による道路整備に関する説明

3. 講演会資料（一部）



江戸時代に作成された地図



山陰道の国々は東アジア諸国との玄関口でもあり、国司には柿本人麻呂など万葉集の中でも名高い歌人が多く派遣されていました。

4. 展示

県立図書館 1階ホールで4月5日まで、道路に関する各種資料の展示を行っています。



島根県では、落石等の異常を発見した際の通報手段として、スマートフォンを用いた通報アプリケーション「パトレポしまね」を平成29年4月7日から本格運用します。

こんな時に
お知らせください!



落石

舗装の
陥没



護岸の
決壊

※
など、公共土木施設の異常
を見つけたとき

※(道路・河川・砂防・港湾などの施設)

簡単操作で
送れます!



レポーター
登録はコチラ



道と川の相談ダイヤル

パトレポ しまね



あなたのスマートフォンから
送られた写真が、
公共土木施設の安全につながります!



島根県観光キャラクター
「しまねっぴ」
登録商標第4241号



<http://patorepo-shimane.org>



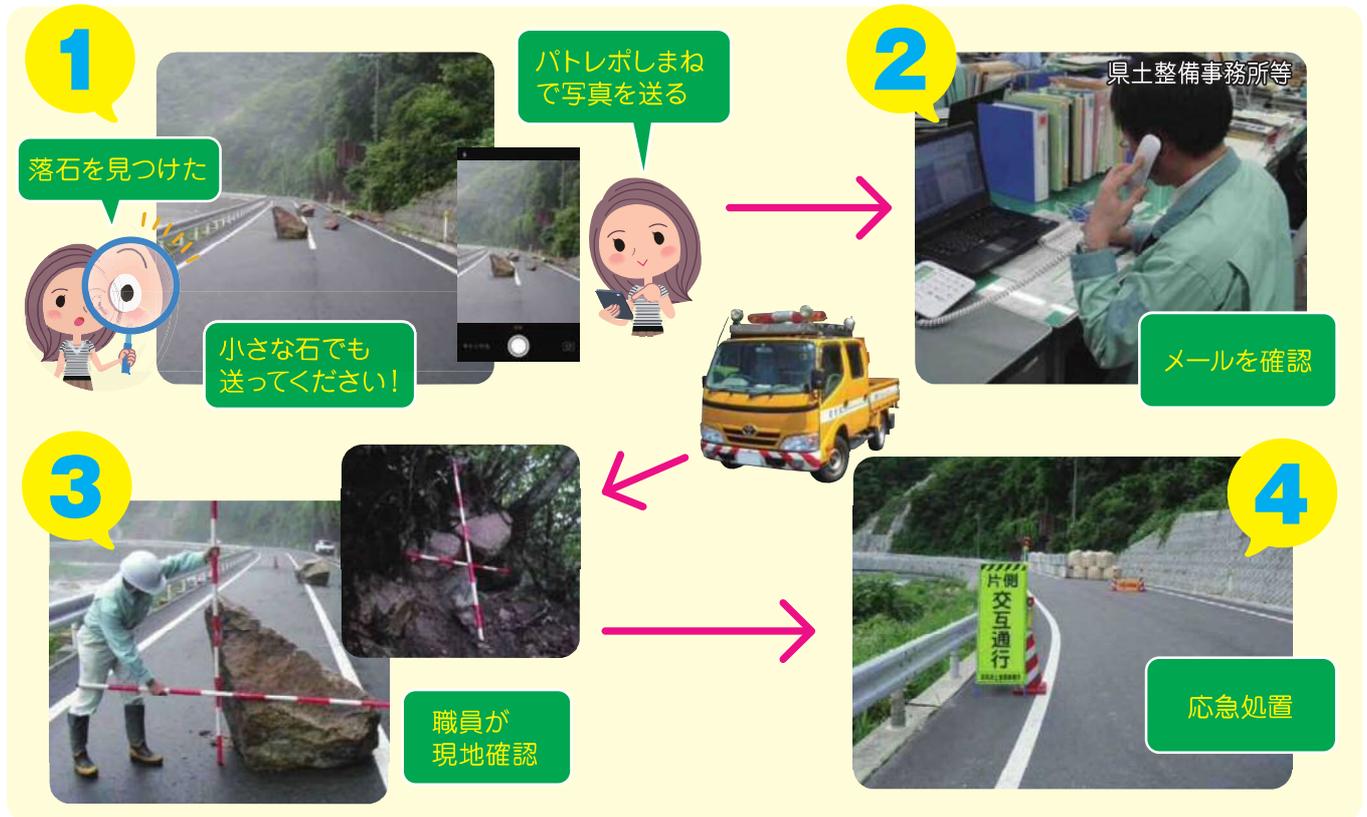
iosバージョン8.0以上 Androidバージョン4.2以上

道と川の相談ダイヤル パトレポしまね



もしも

道や川の異常を発見したら「パトレポしまね」を使って、スマートフォンから写真や位置情報を送ってください。あなたからの情報が、道と川の安全につながります！



県が管理する道路施設



主要県道、一般県道を管理しています(六角形の目印です)。また、国道のうち、路線番号が3桁の道路は県が管理しています。

県が管理する河川施設



一級河川(国土交通省管理区を除く)、二級河川は県が管理しています。

電話でも受け付けています

地域	番号	事務所
松江市	0852-32-5200	松江県土整備事務所
安来市	0854-32-4149	広瀬土木事業所
雲南市・飯南町	0854-42-9601	雲南県土整備事務所
奥出雲町	0854-54-1251	仁多土木事業所
出雲市	0853-30-5789	出雲県土整備事務所
川本町・美郷町・邑南町	0855-72-9630	県央県土整備事務所
大田市	0854-84-9720	大田事業所
江津市・浜田市	0855-29-5777	浜田県土整備事務所
益田市	0856-31-9655	益田県土整備事務所
津和野町・吉賀町	0856-72-0511	津和野土木事業所
隠岐の島町	08512-2-9737	隠岐支庁県土整備局
西ノ島町・海士町・知夫村	08514-7-9111	島前事業部

※連絡頂いた情報に基づいて早急に現場対応致しますが、内容によっては時間を要する場合があります。

(都) 神門通り線2工区のワークショップを開催しました

平成29年3月6日(月)19時から、出雲商工会にて神門通り線2工区の第1回ワークショップを開催しました。

当日は地域の皆さまをはじめとした約90名の参加があり、今後の神門通りの整備についての思いやアイデアなど、様々な意見をいただくことができました。



【神門通り線（2工区）事業概要】

宇迦橋の架け替え
 …老朽化した橋を新しく、安全な橋へ架け替えます

美しい景観の創出
 …門前町に相応しい景観を目指します

歩道の拡幅
 …歩道幅を広げ、安全な歩行空間を確保します

電線の地中化
 …景観を向上させ、歩行空間も確保します

詳細については出雲県土整備事務所のホームページをご覧ください。
 (URL : http://www.pref.shimane.lg.jp/infra/toshi/kikan/izumo_kendo/shinmon2.html)

【神門通り線2工区ワークショップについて】

2工区には大鳥居や宇迦橋など、道づくりや景観を考える上で重要なポイントが多く存在していることから、計5回のワークショップを開催し、これまでと同様、地域との意見を反映させながら事業を進めていきます。

- 第1回：道づくりについて考える (H29.3.6) ←今回実施
- 第2回：宇迦橋の景観について考える① (H29.5.24)
- 第3回：宇迦橋の景観について考える② (H29.7月中旬予定)
- 第4回：宇迦橋の景観について考える③ (H29.9月中旬予定)
- 第5回：まちづくりについて考える (H29.11月中旬予定)

【第1回ワークショップの流れ】



ワークショップ運営側より、今回のワークショップの目的や、道幅の考え方等について説明しました。

神門通り線1工区が整備前後でどう変わったか、今後2工区をどうしたいか等、参加者の皆様のご意見を「ふせん」へ記入していただきます。

「ふせん」を回収し、どのような意見があったか総合コーディネーターの桑子先生から紹介していただきました。

【参加者の皆様のご意見】

1工区（完了工区）について

- ・観光客が増えにぎやかになった。
- ・歩道が広くなり、歩行者が通行しやすくなった。
- ・舗装が石畳になり、雰囲気明るくなった。
- ・神門通りと大社の統一感が出た。

…etc



2工区について

- ・大鳥居とマッチした道の景観を。
- ・夜になると暗いので灯りがほしい。
- ・自転車のスペースが狭いと危ない。
- ・写真が撮影できる場所がほしい。
- ・宇迦橋北詰交差点について、5→4叉路化としてはどうか。
- ・車のスピードを落とす工夫がほしい。

…etc

【次回ワークショップの開催について】

第2回：平成29年5月24日（水）19:00～21:00

「宇迦橋の景観について考える①」

場所：出雲商工会3階大会議室（出雲市大社町杵築南 1344）

申込み：不要

問い合わせ：島根県出雲県土整備事務所都市整備課

（TEL：0853-30-5667）

皆さまの意見が必要です！どうぞ奮ってご参加ください。



和江地区漁港関連道



(仮称)新正原橋上部工工事に着手！

●和江地区漁港関連道

「和江地区漁港関連道」は、和江漁港と国道9号を結ぶアクセス道路で、平成24年に整備に着手しました。

和江漁港は、平成25年9月に大田市内の4市場（和江、五十猛、久手、仁摩）を統合し、流通の集約化・効率化を図ると共に、統合市場として新たに整備された高度衛生管理型荷捌き施設により水産物の付加価値向上に取り組んでいます。また、和江地区には若い漁業者が多く、県内において最も活気のある漁業地域の一つとなっています。



位置図

この和江漁港で水揚げされた水産物は、朝市のほかに全国的にも珍しい夕市により県内はもとより関西、中国、九州地区方面等へ出荷されていますが、周辺道路は未改良区間が多く、車両の離合が困難な箇所もあり、安全で効率的な輸送道路の整備が急がれるところです。また、当該道路により、現在整備中である山陰道大田静間道路へのアクセス向上も期待されており、高速道路との連携整備による流通機能の強化が期待されています。

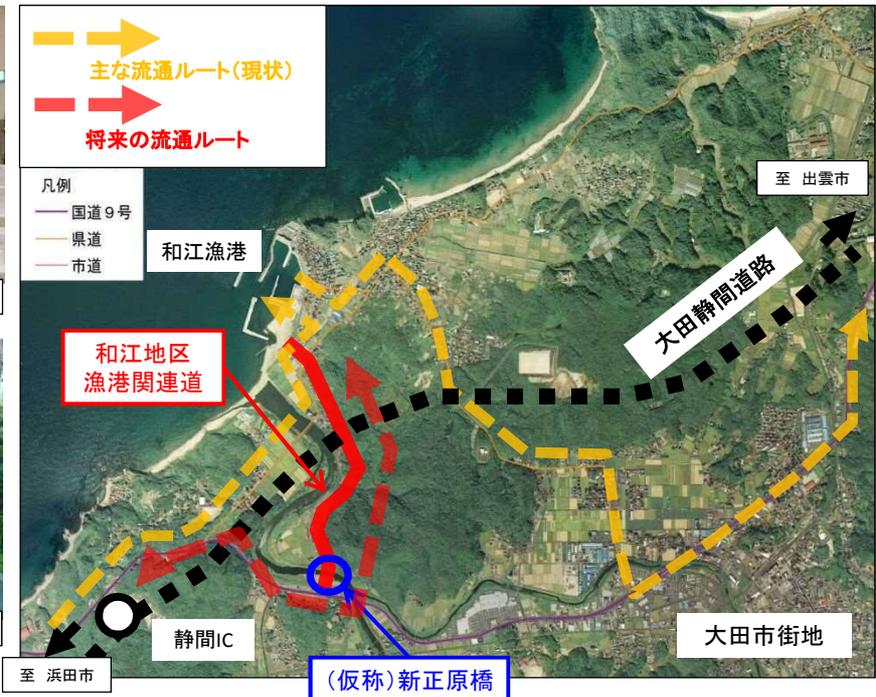
今回は、当該漁港関連道における主要構造物である橋梁「(仮称)新正原橋」を紹介します。



高度衛生管理型荷捌き施設でのセリの状況



周辺道路の状況



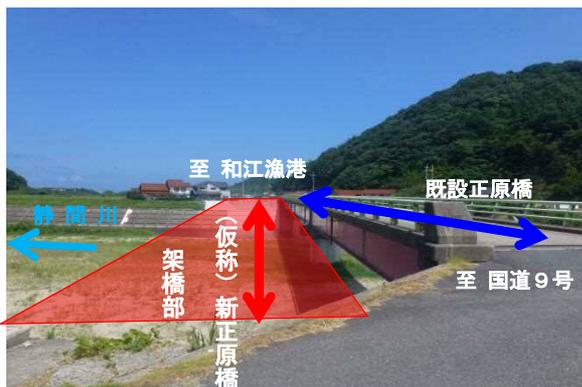
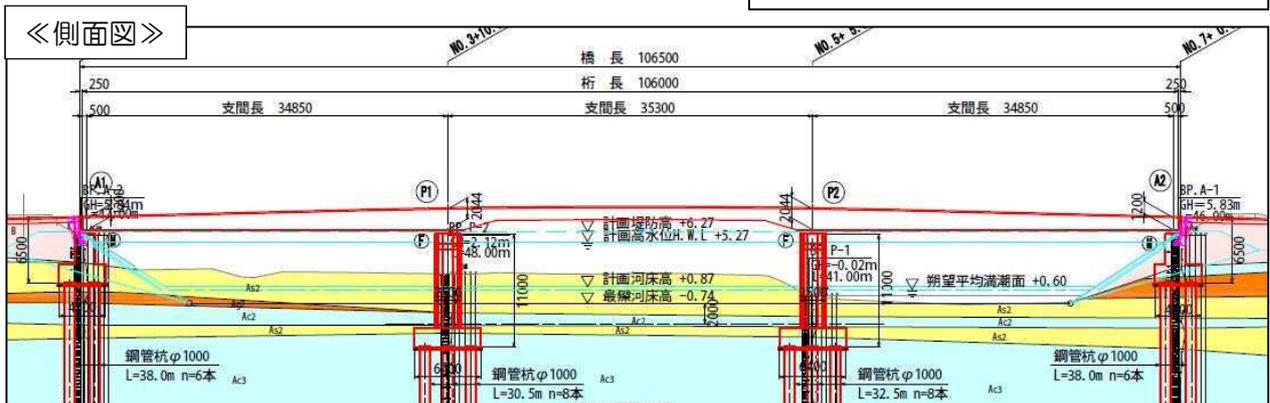
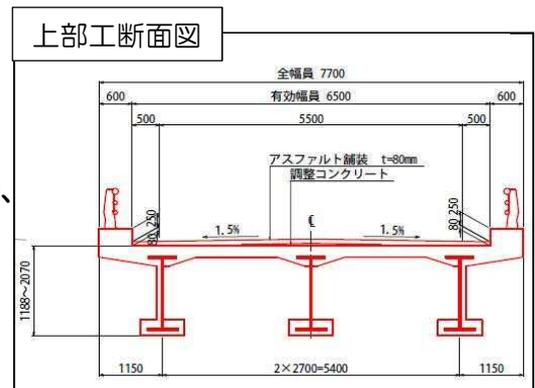
●（仮称）新正原橋

「（仮称）新正原橋」は、2級河川静間川に架橋された現在の正原橋が有効幅員W=4.0mと狭いため、新たに下流側に2車線幅員を確保した橋梁として計画しました。

橋梁概要は、橋長L=106.5m、有効幅員W=6.5m（車道）で、上部形式は3径間連続プレキャスト合成桁です。国道9号への接続箇所付近に近接しており、静間川の架橋条件（桁下高）を満足しながら国道9号への接続勾配を抑える必要があり、橋台位置において桁高を1.2mに制限する必要から、全体的にも珍しい橋梁形式を採用しています。

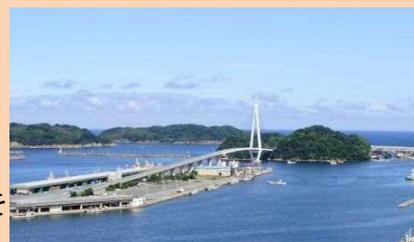
なお、既設橋梁は撤去せずに防護柵などを改良して歩道橋として利用する計画です。

現在の進捗状況は、これまでにA2橋台が完成し、A1橋台及びP1・P2橋脚を施工中で、上部工工事にも着手しました。今年の秋以降には架設を行う予定です。現場見学会を予定していますので、その際には皆さん是非ともご参加下さい。



～最後にちょっと漁港漁場整備課のPR～

漁港漁場整備課（県内水産事務所）では、県内の漁港や魚礁の整備以外にも、今回紹介させて頂いた橋梁整備などの道路関係事業をはじめ、多くの種類の事業（道路、海岸、下水等）を行っています。



県内屈指の大規模橋梁、浜田マリン大橋も漁港事業で整備したものです！！